

平成30年度 大阪市ひとり親家庭等実態調査 調査票

(ひとり親家庭用)

(お願い)

この調査は大阪市におけるひとり親家庭等の生活実態とニーズを把握し、ひとり親家庭及び寡婦の福祉施策と自立支援施策のさらなる充実を図るための基礎資料を得るために行う大切な調査ですのでご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。

～記入上の注意～

- ・ご回答は、あてはまる番号などに○をつけていただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。

《質問》

あなたのご家庭はひとり親家庭に該当されますか。次の説明を参考にして、あてはまるものに○をつけてください。

この調査で「ひとり親家庭」とは、死別、離別、未婚などにより現に配偶者のいない女性または男性が20歳未満の子どもを育てている世帯をいいます。

単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居をしている場合は除きます。また、法律上は婚姻していないが、事実上の婚姻関係にある場合も除かれます。

なお、法律上の離婚にまで至っていないが、事実上婚姻関係が解消している場合などは「1」に○をつけてください。

1. 該当する



☆次のページに進んで最後の質問
までご回答ください。

2. 該当しない



☆これで調査は終わりです。
調査票は同封の返信用封筒に入れて
ご返送ください(切手はいりません。)

問合せ先：大阪市ひとり親家庭等実態調査実施本部

☎ 0120-311-207

(平日・午前9時～正午及び午後1時～5時まで)

この調査は、統計法第24条に基づき総務大臣に届出を行った統計調査です。統計法に基づき調査票は統計目的以外には絶対に使用しません。

I あなたの状況についておうかがいします。

問1 あなたのお住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

1. 北区	7. 港区	13. 東淀川区	19. 阿倍野区
2. 都島区	8. 大正区	14. 東成区	20. 住之江区
3. 福島区	9. 天王寺区	15. 生野区	21. 住吉区
4. 此花区	10. 浪速区	16. 旭区	22. 東住吉区
5. 中央区	11. 西淀川区	17. 城東区	23. 平野区
6. 西区	12. 淀川区	18. 鶴見区	24. 西成区

問2 あなたの性別に○をつけてください。

1. 男

2. 女

問3 あなたの年齢（平成30年10月1日現在）を記入してください。

_____歳

問4 あなたがひとり親家庭になったのはいつですか。

昭和・平成_____年_____月

または（西暦_____年）

問5 あなたがひとり親家庭になった最大の理由は何ですか。(○は1つ)

1. 配偶者の病死	7. その他の理由による離婚
2. 配偶者の事故死	8. 未婚・非婚
3. その他の理由による配偶者の死亡	9. 遺棄、生死不明
4. 性格の不一致による離婚	10. 別居中
5. 借金など経済的理由による離婚	11. その他
6. 暴力による離婚	(具体的に: _____)

問6 ひとり親家庭になったとき、困ったことは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 経済的に困った	12. その他
2. 就職先がなくて困った	(具体的に: _____)
3. 仕事と子育ての両立が困難だった	
4. 子どもをみてもらうところがなかった	13. 特に困ったことはなかった
5. 家事の仕方がわからなかった	
6. 住むところに困った	
7. 子どもの教育(進学)やしつけのことで困った	
8. 自分が精神的に不安定になった	
9. 子どもが情緒的に不安定になった	
10. 親権や財産等の問題があった	
11. 相談相手がいなかった	

問 7 あなたが最後に通った学校は何ですか。(○はそれぞれ 1 つ)

1. 中学校 2. 高等学校 3. 短大・専修学校（専門課程） 4. 大学 5. その他（具体的に：	(どちらかに○) → 中退 ・ 卒業
--	-----------------------

問 8 同居しているすべての子どもの年齢（平成30年10月 1 日現在）を記入し、性別に○をつけてください。

就学前で保育所等又は幼稚園、認定こども園、認可外保育施設に通っている場合は、施設の種類の○をつけてください。学生の場合は、学校の種類の○をつけ、学年を記入してください。学校を卒業している子どもの場合は、最終学歴に○をつけ、就職の有無についても○をつけてください。

	子どもの年齢	性別 (いずれかに○)	施設の種類の (いずれかに○)	学生の場合		学校を卒業している場合	
				学校の種類の (いずれかに○)	学年	最終学歴 (いずれかに○)	就職 (いずれかに○)
1	歳	1. 男 2. 女	1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 認可外保育施設	1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 大学・短大 5. 専門学校 6. 他 ()	年	1. 中学校 2. 高等学校 3. 大学・短大 4. 専門学校 5. 他 ()	1. 有 2. 無
2	歳	1. 男 2. 女	1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 認可外保育施設	1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 大学・短大 5. 専門学校 6. 他 ()	年	1. 中学校 2. 高等学校 3. 大学・短大 4. 専門学校 5. 他 ()	1. 有 2. 無
3	歳	1. 男 2. 女	1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 認可外保育施設	1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 大学・短大 5. 専門学校 6. 他 ()	年	1. 中学校 2. 高等学校 3. 大学・短大 4. 専門学校 5. 他 ()	1. 有 2. 無
4	歳	1. 男 2. 女	1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 認可外保育施設	1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 大学・短大 5. 専門学校 6. 他 ()	年	1. 中学校 2. 高等学校 3. 大学・短大 4. 専門学校 5. 他 ()	1. 有 2. 無
5	歳	1. 男 2. 女	1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 認可外保育施設	1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 大学・短大 5. 専門学校 6. 他 ()	年	1. 中学校 2. 高等学校 3. 大学・短大 4. 専門学校 5. 他 ()	1. 有 2. 無
6	歳	1. 男 2. 女	1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 認可外保育施設	1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 大学・短大 5. 専門学校 6. 他 ()	年	1. 中学校 2. 高等学校 3. 大学・短大 4. 専門学校 5. 他 ()	1. 有 2. 無

問9 現在同居している家族は何人ですか。(あなた本人と質問8に記入したお子さんは除きます。) お子さんのみの場合は、何も記入せずに問10へ進んでください。

あなたの父母	あなたの兄弟姉妹	あなたの祖父母	その他
人	人	人	人

Ⅱ あなたのお子さんについておうかがいします。

問10 あなたは、子育てやお子さんとの関係などについてどのように感じていますか。a～fのそれぞれの項目で、あてはまるもの1つに○をつけてください。

		そう思う	そうは思わない	どちらともいえない
a	子どもとの時間が十分にとれない ⇒	1	2	3
b	子どもの気持ちがよくわからない ⇒	1	2	3
c	子どもがわずらわしく、イライラすることが多い ⇒	1	2	3
d	子どもはどんな時でも自分を頼りに思っている ⇒	1	2	3
e	子どもは自分の生きがいである ⇒	1	2	3
f	子どもとともに自分も成長していると思う ⇒	1	2	3

問11 お子さんのことで、どのような悩み、困ったことがありますか。

(○はあてはまるものすべて)

1. しつけのこと 2. 進学のこと 3. 就職のこと 4. 非行問題 5. 健康問題 (病気や障がいのこと) 6. 食事・栄養のこと 7. 学校教育のこと 8. いじめ 9. 友人関係 10. 不登校	11. 学力 12. 保育のこと 13. 衣服・身のまわりのこと 14. 異性関係 15. 思春期の対応のこと 16. 頼りになる親族がいない → a. 親族と疎遠 b. 近くにいない 17. その他 (具体的に：)
18. 特に悩み、困ったことはない	

問12 子育てに関する相談相手（場所）がありますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 親族 | |
| 2. 友人 | |
| 3. SNS | |
| 4. 近所（地域）の方 | |
| 5. 学校（保育所・幼稚園等）の先生 | |
| 6. こども相談センター（児童相談所） | |
| 7. スクールカウンセラー | |
| 8. 男女共同参画センター子育て活動支援館（クレオ大阪子育て館） | |
| 9. 各区の保健福祉センター | |
| 10. 民生委員・児童委員、主任児童委員 | |
| 11. ひとり親等福祉相談所員 | |
| 12. 病院・クリニックなどの医療機関 | |
| 13. 児童養護施設などの児童福祉施設 | |
| 14. 地域で活動している団体（NPO等） | |
| 15. その他（具体的に： | ） |
| 16. 相談相手（場所）はいない | |

問13 お子さんが病気になったとき、あなたはどのような対応をしていますか。

（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 自営や在宅ワーク又は無職等で家にいるので、あなた自身が看護する | |
| 2. 仕事を休むなどしてあなた自身が看護する | |
| 3. 病児・病後児保育事業を利用する | |
| 4. 日常生活支援事業を利用する | |
| 5. ファミリー・サポート・センター事業を利用する | |
| 6. 親・兄弟姉妹などの親族に看護を頼む | |
| 7. 友人・知人などに看護を頼む | |
| 8. 仕事中は子どもひとりでいることをがまんしてもらう | |
| 9. その他（具体的に： | ） |

問14 お子さんの進学はどこまでを考えていますか。または考えましたか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|---|
| 1. 中学校 | |
| 2. 高等学校 | |
| 3. 短大 | |
| 4. 大学 | |
| 5. 専門学校 | |
| 6. 子どもにまかせる | |
| 7. その他（具体的に： | ） |

問15 お子さんについて、学校の授業等を除き、過去1年間に、文化芸術活動（映画、音楽、絵画、写真、演劇などの鑑賞、体験など）や自然体験（山登り、海水浴、川遊び、キャンプなど）、スポーツ体験を行う機会は何の程度ありましたか。（○はそれぞれ1つ）

	週1回以上	月1回以上	年1回程度	年数回以上	全くない	わからない
①文化芸術活動	1	2	3	4	5	6
②自然体験	1	2	3	4	5	6
③スポーツ体験	1	2	3	4	5	6

【小学生1年生から高校3年生までのお子さんがおられる方におうかがいします】

（それ以外の方は問18へ進んでください）

問16 お子さんを学習塾や習い事に通わせていますか。（○は1つ）

1. 通わせている （→問16-1へ）
2. 通わせていない （→問16-2へ）

問16-1 問16で「通わせている」と回答した方におうかがいします。

どのようなところに通わせていますか。また、1か月の月謝はどのくらいですか。お子さんごとにお答えください。

1. 学習塾 4. 習字・そろばん教室
2. 音楽・芸術教室 5. スポーツ教室・武道
3. 英語 6. その他（具体的に： ）

	お子さんの学年	番号（複数記入可）	月謝の額（合計）
1	小・中・高 （ ）年	1. 2. 3. 4. 5. 6	約 _____ 円
2	小・中・高 （ ）年	1. 2. 3. 4. 5. 6	約 _____ 円
3	小・中・高 （ ）年	1. 2. 3. 4. 5. 6	約 _____ 円
4	小・中・高 （ ）年	1. 2. 3. 4. 5. 6	約 _____ 円

問16-2 問16で「通わせていない」と回答した方におうかがいします。

通わせていない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

1. 学力に不安がない 4. 子どもが希望しない
2. 時間の確保が困難 5. その他（具体的に： ）
3. 経済的に困難

【小学校１年生から６年生のお子さんがおられる方におうかがいします】

（それ以外の方は問18へ進んでください）

問17 放課後または小学校の長期休暇中、そのお子さんは主にどなたがみていますか。（もしくはどちらに通われていますか。）（○はあてはまるものすべて）

1. あなた自身がみる	7. 小学校の「いきいき」を利用する
2. 同居の家族がみる	8. 放課後児童クラブ（学童保育）に通う
3. 実家や親戚などにみてもらう	9. 習い事や塾に通う
4. 近所の人に見てもらう	10. その他（具体的に：_____）
5. 友人や知人に見てもらう	11. みる人はいない
6. ファミリー・サポート・センター事業等を利用する	

Ⅲ 仕事のことについておうかがいします。

問18 あなたの職業は、結婚（又は子の出生前）から現在まで、どのような変化がありましたか。以下の時点ごとに、主要な就業形態と職種について、AとBの表からあてはまる主なものを1つずつ選んで、C表に○をつけてください。また、現在において主な仕事以外に別の仕事（副業）をしていれば同様にC表に○をつけてください。

A 就業形態	B 職種
1. 正社員・正規職員 2. パート・アルバイト・臨時職員 3. 派遣社員 4. 自営業主（商店主、農業など） 5. 自営業の手伝い（家族従事者） 6. 家庭で内職・在宅ワーク 7. 無職（専業主婦を含む） 8. その他	1. 専門知識・資格・技術をいかした仕事（教員、保育士、会計士、看護師、医療技術者など） 2. 管理的な仕事（企業、団体の管理職など） 3. 事務的な仕事（一般事務、経理事務・医療事務など） 4. 営業・販売の仕事（販売員、セールス、外交員など） 5. サービスの仕事（理・美容師、ホームヘルパー、飲食店員など） 6. 運輸・通信の仕事（運転手、電話交換手など） 7. 製造・技能・労務の仕事（工員、製造技能工など） 8. その他

【C表】		就業形態（番号に○）	職種（番号に○）
結婚前（又は子の出生前）⇒		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（_____）	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（具体的に：_____）
ひとり親家庭になる前⇒		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（_____）	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（具体的に：_____）
ひとり親家庭になった直後⇒		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（_____）	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（具体的に：_____）
現在	主な仕事⇒	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（_____）	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（具体的に：_____）
	副業⇒	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（_____）	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. その他（具体的に：_____）

問19 ひとり親家庭になる前と後で、仕事のうえで変化はありましたか。(○は1つ)

1. 変化なく、そのまま仕事を続けた
2. 勤務時間等の便宜を図ってもらって仕事を続けた
3. 仕事と家事が両立しやすい仕事に転職した(→問19-1へ)
4. (3.以外の理由で)転職した(→問19-1へ)
5. あらたに仕事に就いた(→問19-1へ)
6. 複数の仕事に就くことになった(→問19-1へ)
7. 仕事をやめ無職になった(→問22へ)
8. そのまま無職を続けた(→問22へ)
9. その他(具体的に:)

問19-1 問19で3. 4. 5. 6と回答した方におうかがいします。

求職活動をしているときに何か問題がありましたか。(○はあてはまるものすべて)

1. どこに相談すればいいのかわからなかった
2. 気軽に利用できる相談先がなかった
3. 自分にむいている仕事は何かわからなかった
4. 子どもの保育の手立てがなかった
5. 求人自体が少なかった
6. 年齢制限のため応募先が限られた
7. 資格・技能が合わなかった
8. 職業経験が少ないことが問題になった
9. 小さい子どもがいることを問題にされた
10. ひとり親家庭であることを問題にされた
11. 特に問題はなかった
12. 求職活動にあたりサポートが得られなかった
13. その他(具体的に:)

【現在働いている方におうかがいします】

(現在無職の方は何も記入せずに問22へ進んでください)

問20 あなたは何時から何時まで働いていますか。午前・午後どちらかに○をつけ、時間を記入してください。一定でない方は2. に○をつけてください

1. 午前・午後 _____時_____分 ～ 午前・午後 _____時_____分
2. 交代制勤務などで一定でない

問21 あなたは転職したいですか。(○は1つ)

1. すぐに転職したい (→問23へ)
2. よい仕事があれば転職したい (→問23へ)
3. 転職するつもりはない (→問25へ)
4. どちらともいえない (→問25へ)
5. その他 (具体的に:) (→問25へ)

【現在無職の方におうかがいします】

問22 あなたは働きたいですか。(○は1つ)

1. 今すぐに働きたい
2. 今は働けないがそのうち働きたい
3. 働きたいと思わない (→問25へ)
4. 働くことができない (→問25へ)

→ 問22-1 問22で1. 2. と回答した方におうかがいします。

働きたいのに働いていない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 仕事の探し方がわからないから
2. 収入について条件の合う仕事がないから
3. 時間について条件の合う仕事がないから
4. 年齢制限のため仕事がないから
5. 仕事に必要な知識や資格がないから
6. 求職活動中で就職先が決まっていない
7. 子どもの保育の手だてがないから
8. 子どもの問題があるから (健康状態等)
9. 自分の問題があるから (健康状態、離婚調停等)
10. 前の配偶者等から身を隠すため
11. その他 (具体的に:)

【転職したい方、無職で働きたい方におうかがいします】

(それ以外の方は問25へ進んでください)

問23 仕事に就く場合に重視することは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 雇用が安定している
2. 厚生年金や雇用保険に入れる
3. 十分な収入が得られる
4. 労働時間が短い・残業が少ない
5. 通勤時間が短い
6. 土日に休める
7. 就業時間に融通がきく
8. 休暇がとりやすい
9. 簡単な仕事である
10. 技術や能力が発揮できる
11. 経験のある仕事である
12. 在宅でできる
13. 技術・技能を身につけられる
14. その他 (具体的に: _____)

【転職したい方、無職で働きたい方におうかがいします】

問24 あなたはどのような就業形態で働きたいですか。(○は1つ)

1. 正社員・正規職員
2. パート・アルバイト・臨時職員
3. 個人でできる仕事(事業)をやりたい
4. 在宅で仕事をしたい
5. その他 (具体的に: _____)

【すべての方におうかがいします】

問25 あなたはどんな資格を持っていますか。持っている資格名を記入してください。(自動車運転免許等含む)

そのうち、ひとり親家庭になってから取得したものについては1に○をつけてください。また、仕事、就職に役立っている資格については2に○をつけてください。

(資格を持っていない方は、何も記入せずに問26へ進んでください。)

持っている資格	(1) ひとり親家庭 になってから取得	(2) 仕事、就職に 役立っている
(1)	1	2
(2)	1	2
(3)	1	2
(4)	1	2
(5)	1	2
(6)	1	2

問26 仕事や就職に役立つ資格として、今後取得したい資格は何ですか。取得したい資格名を記入してください。

(資格取得を考えていない方は、何も記入せずに問27へ進んでください。)

(1)	(4)
(2)	(5)
(3)	(6)

問27 ひとり親家庭になってから、資格を取得しようとするときに悩みとなったのは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 資格取得するための時間がない
- 2. 資格取得中に収入が減ること
- 3. 資格取得中の保育の手だてがない
- 4. 資格取得のための費用がない
- 5. 職場の理解が得られるかどうか不安
- 6. 資格取得のための講習会の情報がない
- 7. 特に悩みはない
- 8. 資格取得をしていない、考えていない
- 9. その他 (具体的に:)

【現在働いている方、働いたことがある方におうかがいします】

問28 働いていて困ることは何ですか。また、どのような支援があればいいと思いますか。
(自由記載)

(自由にお書きください。)

Ⅳ あなたの家計についておうかがいします。

問29 ひとり親家庭になった直後、さしあたりどのような方法で生計をたてられましたか。
(○はあてはまるものすべて)

1. 自分の就労による収入で支えた
2. 預貯金を引き出し、生活費に充てた
3. 財産分与・相続分を使った
4. 生命保険の保険金を使った
5. 親族からの援助を受けた
6. 遺族年金を受給した
7. 児童扶養手当を受給した
8. 母子父子寡婦福祉資金の貸付を受けた
9. 生活保護を受けた
10. 子どもの父親または母親からの養育費でまかなった
11. 借金をした
12. 母子生活支援施設(母子寮)に入所した
13. その他 (具体的に: _____)

問30 平成29年(1～12月)のあなたの世帯の年間総収入、あなた自身の年間総収入、あなたの年間就労収入はどれくらいですか。

それぞれ下から選んで、あてはまるアルファベット1つを記入してください。

※総収入とは、必要経費を引く前の総額(就労収入や問31の収入などすべて足した額)です。

※就労収入とは、社会保険料や源泉所得税などが引かれる前の総支給額のことです。いわゆる「手取り額」ではありません。

	同居親族を含む あなたの世帯の 年間総収入 (アルファベットを1つ記入)	うち、 あなた自身の 年間総収入 (アルファベットを1つ記入)	うち、 あなたの 年間就労収入 (アルファベットを1つ記入)
回 答 欄			

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| A. 50万円未満 | G. 300～350万円未満 | M. 600～650万円未満 | S. 900～950万円未満 |
| B. 50～100万円未満 | H. 350～400万円未満 | N. 650～700万円未満 | T. 950～1000万円未満 |
| C. 100～150万円未満 | I. 400～450万円未満 | O. 700～750万円未満 | U. 1000万円以上 |
| D. 150～200万円未満 | J. 450～500万円未満 | P. 750～800万円未満 | |
| E. 200～250万円未満 | K. 500～550万円未満 | Q. 800～850万円未満 | |
| F. 250～300万円未満 | L. 550～600万円未満 | R. 850～900万円未満 | |

問31 あなたは就労収入以外に収入（生活費）はありますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 児童扶養手当
2. 児童手当
3. 特別児童扶養手当
4. 生活保護費
5. 年金（遺族、障害等）
6. 預貯金の取り崩し
7. 養育費
8. 前の配偶者からの仕送り
9. 親・親族からの仕送り
10. 家賃・地代収入
11. 母子父子寡婦福祉資金借入金
12. 借金
13. その他（具体的に： _____）

問32 生活するために、1か月に最低どれくらいの金額が必要であると考えていますか。

1 か月最低 _____ 円

問33 現在の生活状況をどのように感じていますか。（○は1つ）

1. 大変余裕がある
2. 余裕がある
3. 普通
4. 苦しい
5. 大変苦しい

V 養育費・面会交流についておうかがいします(死別でない方)。

問34 養育費の取り決めをしていますか。(○は1つ)

1. 文書での取り決め(取り決め書)
2. 公正証書
3. 調停調書
4. 審判書
5. 判決
6. 口約束
7. その他(具体的に:)
8. 取り決めをしていない又はできない

問34-1 問34で「8. 取り決めをしていない又はできない」と回答した方におうかがいします。
養育費の取り決めをしていない又はできない理由は何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

1. 相手から身体的・精神的暴力や児童虐待があったから
2. 自分の収入等で経済的に問題ないから
3. 取り決めの交渉がわずらわしいから
4. 相手に支払う意思や能力がないと思ったから
5. 養育費を請求できるとは思わなかったから
6. 面会交流をさせたくないから
7. 取り決めの交渉がまとまらなかったから
8. 子どもを引きとった者が養育費を負担すると思っていたから
9. 縁を切りたいので要求しなかったから
10. 現在交渉中又は交渉予定であるから
11. その他(具体的に:)

あてはまる理由のうち、最も大きな理由の番号を記入してください

()

(取り決めをしていない又はできない方) 問36へ進んでください。

問35 養育費を受け取っていますか。(○は1つ)

- 1. 定期的に受け取っている
- 2. 不定期だが受け取っている
- 3. 受け取ったことはあるが、現在は受け取っていない
- 4. 受け取っていない(→問35-2へ)

▶ 問35-1 問35で1. 2. 3. と回答した方におうかがいします。

養育費の額はおいくらですか。毎月の受け取り額(一定額でない方は、月あたりの平均額)を記入してください。(以前受け取っていた方は、受け取っていた額を記入してください。)

月額 約 _____円

(問35で1. と回答した方) 問36へ進んでください。

問35-2 問35で2. 3. 4. と回答した方におうかがいします。

受け取っていない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 相手に収入がない(なくなった)から
- 2. 相手と連絡がとれない(とれなくなった)から
- 3. 相手が結婚したから
- 4. 相手に支払う意思がないから
- 5. 面会交流をさせたくないから
- 6. 交渉がわずらわしいから
- 7. 法的手段(強制執行等)の方法がわからないから
- 8. その他(具体的に: _____)

問36 面会交流の取り決めをしていますか。(○は1つ)

1. 文書での取り決め (取り決め書)

2. 公正証書

3. 調停調書

4. 審判書

5. 判決

6. 口約束

7. その他 (具体的に:)

8. 取り決めをしていない又はできない

問36-1 問36で「8. 取り決めをしていない又はできない」と回答した方におうかがいします。

面会交流の取り決めをしていない又はできない理由は何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

1. 相手から身体的・精神的暴力や児童虐待があったから

2. 取り決めの交渉がわずらわしいから

3. 相手と関わり合いたくないから

4. 相手が面会交流を希望しないから

5. 取り決めをしなくても交流できるから

6. 子どもの連れ去りや虐待の可能性があるから

7. 子どもが会いたがらないから

8. 相手が養育費を支払わない又は支払えないから

9. 子どものためにならないと思うから

10. 親族が反対しているから

11. 取り決めの交渉がまとまらなかったから

12. 現在交渉中又は今後交渉予定であるから

13. その他 (具体的に:)

あてはまる理由のうち、最も大きな理由の番号を記入してください

()

(取り決めをしていない又はできない方) 問38へ進んでください。

問37 面会交流を実施していますか。(○は1つ)

- 1. 行っている
- 2. 行っていたが、現在は行っていない
- 3. 行っていない(→問37-2へ)

---▶ 問37-1 問37で1. または2. と回答した方におうかがいします。

面会交流の頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- 1. 月2回以上
- 2. 月1回程度
- 3. 2～3か月に1回程度
- 4. 4～6か月に1回程度
- 5. 長期休暇中
- 6. 別途協議
- 7. その他(具体的に:)

(問37で1. と回答した方) 問38へ進んでください。

(問37で2. と回答した方) 問37-2へ進んでください。

問37-2 問37で2. または3. と回答した方におうかがいします。

面会交流を行っていない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 相手が養育費を支払わないから
- 2. 相手が面会の約束を守らないから
- 3. 子どもが会いたがらないから
- 4. 塾や学校の行事で子どもが忙しいから
- 5. 子どもが精神的又は身体的に不安定になるから
- 6. 相手に暴力などの問題行動があるから
- 7. 相手が面会交流を求めてこないから
- 8. 親族が反対しているから
- 9. 第三者による支援が受けられないから
- 10. 相手が結婚したから
- 11. その他(具体的に:)

VI 住宅についておうかがいします。

問38 それぞれの時点における住宅について、それぞれあてはまるもの 1つ に○をつけてください。

ひとり親家庭になる前	ひとり親家庭になった直後	現 在
1. 持家 2. 親・親族宅に同居 3. 市・府営住宅 4. 公団・公社住宅 5. 民間賃貸住宅 6. 社宅・社員寮 7. その他 (具体的に:)	1. 持家 2. 親・親族宅に同居 3. 市・府営住宅 4. 公団・公社住宅 5. 民間賃貸住宅 6. 社宅・社員寮 7. 母子生活支援施設(母子寮) 8. その他 (具体的に:)	1. 持家 2. 親・親族宅に同居 3. 市・府営住宅 4. 公団・公社住宅 5. 民間賃貸住宅 6. 社宅・社員寮 7. 母子生活支援施設(母子寮) 8. その他 (具体的に:)

問39 現在の住宅について、あなたが負担している住宅費(家賃、ローン等)を記入してください。(家賃の方は共益費を除いてください)

月額 約 _____ 円

問40 ひとり親家庭になったとき、転居しましたか。(○は 1つ)

1. 転居した	2. しなかった
---------	----------

問40-1 問40で「1. 転居した」と回答した方におうかがいします。

転居先を決めるときに、重視した事項は何ですか。(○はあてはまるもの すべて)

1. 実家・親族の近く 2. 保育所・学校 3. 就業先(通勤) 4. 配偶者からの暴力(DV)からの避難 5. 住宅費 6. その他(具体的に:)
--

問41 ひとり親家庭になってから、住まいのことで何か困ったことがありましたか。
(○はあてはまるものすべて)

1. 家賃が高く家計を圧迫する
2. なかなか公営住宅に入居できない
3. 敷金等の一時金が確保できない
4. 保証人になってくれる人がいない
5. ひとり親家庭ということで入居を断られた
6. 希望する所（職場に近い、校区が同じ等）に転居先が見つからない
7. 持家が残ったがローン返済で困った
8. その他（具体的に： _____）
9. 特に困ったことはない

VII 各種支援施策についておうかがいします。

問42 次の制度や施策のことをご存じですか。また、これまで利用したもの、今後利用したいものがありますか。知らないもの、利用したことがあるもの、今後利用したいものにすべて○をつけてください。

制度や施策の詳細は、各QRコードからスマートフォン等でご覧ください。

			知らないものに○	利用したことがあるものに○	今後利用したいものに○
1	区保健福祉センター保健福祉業務担当窓口	 (くわしくはこちら)	1	1	1
2	母子・父子福祉センター(愛光会館)の生活・法律相談	 (くわしくはこちら)	2	2	2
3	母子・父子福祉センター(愛光会館)の講習事業	 (くわしくはこちら)	3	3	3
4	母子・父子福祉センター(愛光会館)の就業相談・職業紹介	 (くわしくはこちら)	4	4	4

			知らないものに○	利用したことが あるものに○	今後利用したい ものに○
5	ひとり親家庭サポーター 各区保健福祉センター保健福祉（福祉）課において、就業支援の専門的知識をもつひとり親家庭サポーターが、ひとり親家庭の方及び寡婦の方に対し、就職や自立支援に関する制度などの情報を提供するとともに、きめ細かな就業相談を担当制で行っています。離婚前相談、ひとり親家庭自立支援給付金の事前相談・申請受理も行っています。 区役所の相談日や相談時間に来所できない方に対しては、訪問による相談等も行っています。	 （くわしくはこちら）	5	5	5
6	ひとり親家庭自立支援給付金 ひとり親家庭の方の安定した就労のために、職業能力の開発支援、修業期間中の生活支援を図るため給付金を支給しています。 ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金  ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金  ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業  （くわしくはこちら）	6	6	6
7	ひとり親家庭専門学校等受験対策給付金 ひとり親家庭の母または父が、就職に有利な資格取得のため、専門学校等受験対策講座（予備校など）を受講する場合にかかる経費について、講座の受講費用の一部を支給します。	 （くわしくはこちら）	7	7	7
8	地域就労支援センター	 （くわしくはこちら）	8	8	8
9	しごと情報ひろば 市内4ヵ所の「しごと情報ひろば」において、若年者・高齢者・障害者・ひとり親家庭の方など、就職に向けた支援が必要な人を対象に職業相談・職業紹介事業を実施しています。	 （くわしくはこちら）	9	9	9
10	公共職業安定所（ハローワーク）	 （くわしくはこちら）	10	10	10

			知らないものに○	利用したことがあるものに○	今後利用したいものに○
11	マザーズハローワーク	 (くわしくはこちら)	11	11	11
12	高等職業技術専門校	 (くわしくはこちら)	12	12	12
13	児童扶養手当	 (くわしくはこちら)	13	13	13
14	母子父子寡婦福祉資金貸付制度	 (くわしくはこちら)	14	14	14
15	ひとり親家庭医療費助成	 (くわしくはこちら)	15	15	15
16	日常生活支援事業 ひとり親家庭及び寡婦の方で、技能習得のための通学・就職活動等の自立促進や、疾病・残業等で一時的に保育や家事・介護を必要とする場合に、家庭生活支援員を派遣したり、家庭生活支援員の居宅で保育したりするなど、その生活を支援します。利用料は、利用世帯の所得に応じ、0円～300円となっています。	 (くわしくはこちら)	16	16	16
17	ひとり親家庭等福祉相談所 概ね各小学校下ごとに、地域の母と子の共励会役員宅に設置し、ひとり親家庭の方や寡婦の身近な相談に応じています。		17	17	17
18	ファミリー・サポート・センター事業 急な保育ニーズに対応するために、子どもを預けたい方（依頼会員）と子どもを預かりたい方（提供会員）が地域でお互いに助けあうシステムです。依頼会員は保育所等への送迎、保護者の急用、体調不良等に利用できます。	 (くわしくはこちら)	18	18	18
19	子ども・子育てプラザ 乳幼児期の親子や地域の子育て仲間、就学期の子どもとの交流の場所として、講座・イベントの開催など、子育て層を応援するとともに、さまざまな子育てに役立つ情報を提供しています。	 (くわしくはこちら)	19	19	19

			知らないものに○	利用したことが あるものに○	今後利用したい ものに○
20	男女共同参画センター子育て活動支援館（クレオ大阪子育て館） 多様化する子育てニーズに対応するため、子育て相談、子育て支援講座の開催、子育て支援情報の提供、子育て支援ボランティアの養成、いろいろレンタなどの事業を実施しています。	 （くわしくはこちら）	20	20	20
21	休日保育事業	 （くわしくはこちら）	21	21	21
22	病児・病後児保育事業	 （くわしくはこちら）	22	22	22
23	一時預かり事業（幼稚園型を除く） 保育所等に入所していない小学校就学前の子どもで、保護者が仕事や病気などの理由で一時的に保育を必要とする場合や、育児負担の軽減のために保育を必要とする場合に保育所等でお預かりしています。	 （くわしくはこちら）	23	23	23
24	ショートステイ事業 小学校就学前の子どもで、保護者が病気などの理由で一時的に子育てが困難なとき、1週間を限度として乳児院・児童養護施設でお預かりしています。	 （くわしくはこちら）	24	24	24
25	ひとり親世帯優先入居公営住宅	 （くわしくはこちら）	25	25	25
26	母子生活支援施設（母子寮）	 （くわしくはこちら）	26	26	26

問43 福祉サービスを受けるときに不満なこと、困ったことは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. どこに相談に行けばいいのかわからなかった | |
| 2. 何をしてくれるのかわからなかった | |
| 3. どこまで支援してくれるのかわからなかった | |
| 4. いろいろ聞かれるのが嫌だった | |
| 5. 自分の状態を正しく説明できなかった | |
| 6. 相談窓口でプライバシーが守られなかった | |
| 7. 担当者の説明がよくわからなかった | |
| 8. 担当者によって説明が違って混乱した | |
| 9. 担当者の言葉、態度に傷ついた | |
| 10. その他 (具体的に: _____) | |
| 11. 困ったことはなかった | |
| 12. 福祉サービスを受けたことはない | |

問44 現在困っていることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 経済的なこと | |
| 2. 仕事のこと | |
| 3. 家事や子どもの世話のこと | |
| 4. 住宅のこと | |
| 5. 子どもの教育(進学)やしつけのこと | |
| 6. 親権や財産等のこと | |
| 7. 自分の健康や精神的なこと | |
| 8. 子どもの健康や精神的なこと | |
| 9. 相談相手、相談先がないこと | |
| 10. 異性との付き合いや再婚のこと | |
| 11. 老後のこと | |
| 12. 家族の面倒(介護等)のこと | |
| 13. その他 (具体的に: _____) | |
| 14. 特に困っていることはない | |

問45 困ったときに相談や手助けを頼める相手がありますか。(○はあてはまるものすべて)

【相談】

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 親族 | |
| 2. 友人、知人 | |
| 3. 近所の人 | |
| 4. 公的機関 | |
| 5. SNS | |
| 6. その他 (具体的に: _____) | |
| 7. 相手はいない | |

【手助け】

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 親族 | |
| 2. 友人、知人 | |
| 3. 近所の人 | |
| 4. 公的機関 | |
| 5. SNS | |
| 6. その他 (具体的に: _____) | |
| 7. 相手はいない | |

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.